

## 委員からの意見について

### I. 武蔵野市の将来像について（私案）

まだ、2回の議論だけですが、委員の皆様の求める市の将来像が、少しずつイメージ化されてきた気がします。まだまだ、紆余曲折あるかと思いますが、武蔵野市が目指すべきものとして多くの市民委員が考えていると思われるものを、3つの「目指し」という形で、「仮に」まとめてみました。

全然違うとか、重要な〇〇が入っていない、とか、反対の考えだ、とかいろいろおありだと思いますが、今後の議論の参考までに、（第4回や第5回で議論することになる論点だとは思いますが）、現時点でご呈示させていただきたいと思います。

#### 1. 生活し続けたい街を目指します

武蔵野市で人が生まれ、育ち、生活し、老いていく、そういう街であって欲しいと思います。老若男女を問わず、人々が万難を排して武蔵野市で生活し続けたいと思うような街になるべく、出生率を上げ、子育てしやすい街とし、生活しやすく、ほっとする家庭の築ける、そして生き甲斐を持って安心して老いていける。そういう街を目指したいと思います。

#### 2. 市民と市が新しい協働を行い、時代にあったコミュニティの再構築を目指します

市と市民が片方が片方に寄りかかるのではなく、互いに相手のためになにができるのか、を問い続ける関係でいたいと思います。市に求めるだけでなく、自助があって、初めて共助があり、そして公助がある。でも、決して自己責任や自助努力といういい加減な言葉で弱者を切り捨てることのない、真に弱者に優しい街。そういう街を目指したいと思います。

#### 3. 愛着と誇りを持てる、特色ある街を目指します

画一化した風景、後追いの行政、そういう日本全国の状態には決して流されません。自らの街をすばらしい街にすべく、自治の本旨に則り、自分たちの運命を自ら切り開いていきます。武蔵野市ならではの特色と、独特の風景景観を持ち、環境にも配慮する街をめざします。行政改革、財政改革もフロントランナーとなる市を目指し、市の有形無形の財産を有効活用していきます。

## Ⅱ. 策定委員の選定について（提案）

本件も時期尚早かもしれませんが、現在の枠組みを変える話ですので、早めに提案させていただきます。ご検討いただければ幸いに存じます。

策定委員会に市民委員から 2 名の参加を、という話であったと思いますが、たった 5 回の会議での議論から、市民会議全体の意見を 2 名が効果的・中立的に代弁できるのか、正直不安なしとしません。調整計画の時のように、特定の分野について 20 人の委員の方が 20 回の会議で議論を尽くした上で、一名を選出するならまだしも、今回の場合は難しいのではないかと危惧しております。

また、市の長期計画としてカバーする範囲があまりに広い中、たった二人のもつ限られた分野での限られた見地からの意見が、全分野についての市民代表としての的確なのか、についても不安があります。

むしろ、策定委員会がワークショップや関係団体会議や圏域別市民会議で意見交換をするように、全体の方向感・基調方針を提示した市民会議全体（10 人）として、策定委員会と議論する場を（例えば策定の途中で 2 回ほど）設けていただく方が、適切ではないかと考えます。ぜひ、皆様のご意見・ご検討をお願いいたします。

また、これに関係しますが、前回多くの方が傍聴に来られて、感想を書かれていました。その中には、我々市民委員の議論では気づいていなかったことなども多々あるのではないかと思われ、それを知ることなくまとめの議論に入るのは大変不安です。市民委員の議論をより豊穡なものにするためにも、早期のフィードバックをお願い申し上げます。

以上